

明日は、今から変えられる

～正しい思いや考えを行動に～

□ 5 月の振り返り

- 多くの来校者より、安中生の挨拶がすばらしいと言われる。
→3 年生、修学旅行の行く先々で挨拶と聞く姿勢がすばらしいと言われる。
- 思いを行動に移すことができる人がいる。
→3 年生、修学旅行自主プランの清水寺でゴミを拾い、自分のカバンに入れる。
- 3 年生、思いやりがあり、心遣いできる素敵な人がいる。
- 2 年生、男子による詩の群読がすばらしく、カッコ良かった。
→人前で発表できることは、これから社会で求められる力である。
- 2 年生、体育の時間に全力で取り組める集団である。(畠山先生)
- 1 年生、掃除に集中して取り組める人が増えてくる。挨拶を丁寧にできる人が増える。
- ▼授業 (青海新聞 NO.2 より)
→休み時間と授業の切り替えや、授業の中での切り替えができていない。私語が多い。
- ▼欠席・早退・遅刻等
→4 月に比べ、増加する。体調管理及び心の健康に注意が必要である。

□ 6 月の目標

「初心、忘るべからず」 世阿弥「花鏡」室町時代

- 4 月当初の誓い「～になって」の作文を思い起こす。
- 失敗や不十分な自分をしっかり見つめて、克服する努力をする。
- より高いもの、さらに上を目指す努力をする。

具体的に 3 点

1. 各大会、コンクールに向けて力を合わせる。

- 3 年生は、3 年近くやり続けたことを誇りに、共にがんばってきた仲間と最高の舞台で最高のパフォーマンスが發揮できるよう準備する。(心技体の充実)
- 1, 2 年生は 3 年生のために、自分のできること、やるべきことに全力を尽くす。

2. いじめは許されない。

- 悪口やからかい、無視、集団でのヒソヒソ話など、相手を傷つける言動がないかを振り返る。
- SNS 等の書き込みにも注意し、大きな事件に巻き込まれないよう細心の注意を払う。
- 思いやりの心で、生徒全員が安心して過ごせる学校を築く。

3. 授業を大事にする。

- ベルスタができる。
- 授業中は、油断しない。聞くときは聞く、書くときは書くなど切り替えをしっかりとする。
- 授業を妨害 (先生から注意を受ける行為) し、周囲から嫌われる人にならない。